

2年 A 進学理系 数学 II

教科	科目名	単位数	学年・コース	教科書名	副教材
数学	数学 II	5	2年 A 進学理系	数学 II (数研出版)	4STEP 数学 II +B (数研出版)

学習目標	数学 II の各分野の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し、処理する能力を伸ばす。
学習の進め方	授業は、教科書を基礎として、問題集も使用します。
評価対象・方法	評価対象は定期試験を中心として、小テスト、課題提出、授業への取り組み等すべての内容を含みます。評価は相対評価を加味した絶対評価となります。
受講に向けての心構えと準備	教科書の問題を全て自力で解けるようにしましょう。普段の授業、特に復習が重要です。授業で習った範囲の 4STEP の問題を毎日解きましょう。解けない問題は、解答を見て、どのようにして解いているのか確認し、もう一度自分で解いてみましょう。分からない問題は、先生に質問して必ず解決しましょう。

	学習事項	学習内容	備考
一 学 期	○数学 II 第 1 章 式と証明 第 1 節 式と計算 第 2 節 等式と不等式の証明 第 2 章 複素数と方程式	3 次式の展開と因数分解、二項定理、整式の割り算、 分数式とその計算、恒等式 等式の証明、不等式の証明 複素数、2 次方程式の解と判別式、解と係数の関係、 剰余の定理と因数定理、高次方程式	第 1 回スタディ サポート 解説授業を行う。
	中間試験		
	第 3 章 図形と方程式 第 1 節 点と直線 第 2 節 円 第 3 節 軌跡と領域	直線上の点、平面上の点、直線の方程式、2 直線の関係 円の方程式、円と直線、2 つの円 軌跡と方程式、不等式の表す領域	
	期末試験		
二 学 期	第 4 章 三角関数 第 1 節 三角関数 第 2 節 加法定理	一般角と弧度法、三角関数、三角関数の性質、 三角関数のグラフ、三角関数の応用 加法定理、加法定理の応用、三角関数の合成	第 2 回スタディ サポート 解説授業を行う。
	中間試験		
	第 5 章 指数関数と対数関数	指数の拡張、指数関数、対数とその性質、 対数関数、常用対数	第 1 回進研模試 解説授業を行う。
	期末試験		
三 学 期	第 6 章 微分法と積分法 第 1 節 微分係数と導関数 第 2 節 導関数の応用 第 3 節 積分法	微分係数、導関数 接線、関数の値の変化、最大値・最小値、 関数のグラフと方程式・不等式 不定積分、定積分、面積	第 2 回進研模試 解説授業を行う。
	学年末試験		